

一人は万人のために、万人は一人のために

京都 労福協

発行

京都労働者福祉協議会

京都市中京区壬生仙念町
30-2 (ラポール京都内)

TEL 075 (821) 5551

FAX 075 (801) 7600

発行責任者 村岡和也

E-mail: rofukukyo@labor.or.jp

2013年 新年交歓会開催

1月7日(月) ラポール京都2階大ホールに於いて、年頭恒例の新年交歓会を労働組合・各団体の現役・OBの皆さん約160名の参加を得て開催しました。

司会の京都労福協・村岡

事務局長より「今年は勇ま

しい和太鼓でスタートした

い」と、和太鼓「雅」の皆

さんの紹介があり、きやり

太鼓・屋台囃子・太鼓囃子

の演奏が大ホールに力強く

響き、2013年のスター

トを切りました。

主催者を代表して、労

福協より細田会

長、京都労働運

動OBの会から

は石井会長の挨

拶を受けまし

た。細田会長は

挨拶の中で、「私

たちをとりまく

環境は非常に厳

しい、竹島・尖

閣諸島の問題で

日本の国が揺れ

ている。国内で

は、東日本大震

災でいわれた家

族の絆が希薄に

なっている。震

災から2年が経

とうとしている

が復興に至って

いないのが現状



福協より細田会長、京都労働運動OBの会からは石井会長の挨拶を受けました。細田会長は挨拶の中で、「私たちをとりまく環境は非常に厳しい、竹島・尖閣諸島の問題で日本の国が揺れている。国内では、東日本大震災でいわれた家族の絆が希薄になっている。震災から2年が経とうとしているが復興に至っていないのが現状

で、お互いが助け合い、そして支え合う自助・共助というものを大切にしながら、今後も運動を展開して行く」と訴えました。

続いて、京都府・京都市など出席ご来賓を紹介の後、細田会長(連合京都)、梶川事務局長(京都総評)、中川近畿労金京都地区統括本部長、川勝OBの会顧問による鏡開きを行い、乾杯はOBの会・石井会長の発声で、一斉に杯を上げ親睦・交流を深めました。

2012年度

京都労福協加盟団体代表者会議

2月28日(木)、ANAクラウンプラザホテル京都に於いて、加盟団体より52名の参加を得て、2012年度京都労福協加盟団体代表者会議を開催致しました。

当初は昨年11月に開催を予定していましたが、衆議院選挙などの関係で2月に延期しての開催となりました。

会議は、細田会長の主催者挨拶に続き、京都労福協より2012年度の活動内容と残された課題について報告と要請の後、きょうとライフサポートセンターの現状と課題について報告さ

京都労福協 第57回定期総会

2013年5月28日(火)
午後1時30分～

ラポール京都 4階第8会議室

中部労福協

第3回代表者会議 開催

2月18日(月) 京都リーガロイヤルホテルに於いて、北陸3県・東海3県・近畿2府4県から47名出席のもと、中部労福協第3回代表者会議が開催されました。

会議は、吉田副会長(福井)の司会で、議長に岩崎・京都労福協副会長を選出後、川口中部労福協会長、渡邊中央労福協副会長、地元京都労福協、細田会長に続き、京都府より但馬商工労働観光部理事から挨拶を受けました。

議案は、①2012年度活動経過報告及び会計決算報告、②2012年度会計監査報告、③2012～3年度活動方針補強(案) ④2013年度予算(案) ⑤2013年度役員交替の5議案が提起され、全議案とも満場一致で採択されました。

総会終了後、京都市景観まちづくりセンター専務理事・寺田敏紀氏から「京都の景観づくり・景観政策について」と題し、基調講演をいただきました。1978年から京都市役所に勤務し、都市計画局長として永年にわたり京都の景観づくりに携わってこられた寺田氏からは、京都ならではの細かい規制についての内容など大変興味深い講演でした。



中央労福協

地方労福協会議

3月12日(火)～13日(水)、福島県郡山市に於いて、第3回地方労福協会議が開催されました。会議には、47地方労福協及び各団体から62名が参加し、当面する諸課題について意思統一を行いました。

会議は、主催者及び地元代表から挨拶を受け、中央労福協と各ブロック報告の後、特別報告として、税理士の関口邦興氏より「労福協の会費及び一般社団法人・財団法人非営利型法人」の税務についての内容で公益法人制度改革に係わる法人税の取り扱いについて報告を受けました。続いての確認事項・意見交換では、①2013年度主要年間

地区労福協・事業団体合同会議開催

2月12日(火) ラボール京都会議室に於いて、2012年度の地区労福協・事業団体合同会議を開催しました。

村岡事務局長から2012年度の活動報告を行った後、各地区事務局長がそれぞれ地区報告を行いました。

続いての協議事項では、次の各項について確認致しました。

①京都労福協第57回定期総会に向け、各地区活動報告の提出、功労者表彰対象者の推薦。②健

康づくりフェアの地区別開催について、特に屋内開催を要請。③退職準備セミナーの地区開催の要請。④中央・中部研修会への参加地区割当。(綾部・口丹) 続いて、各事業団体の事業推進について、労働金庫、全労済、労働者総合会館、勤労者学園、エル・ユニオンから要請が行われ、意見交換の後終了しました。

口丹地区

平成25年度自治体要請行動を実施

昨年の11月26日(月)に亀岡市、本年1月16日(水)に南丹市、同月の17日(木)に京丹波町に於いて、口丹地区労福協、京都労福協、労働金庫、全労済からご参加をいただき、労福協と各事業団体の平成25年度要請書を口丹地区の3つの自治体に対し提出しました。亀岡市からは勝見副市長、南丹市からは佐々木市長、京丹波町寺尾町長をはじめとする方々に出席いただき、労福協と各事業団体より要請の趣旨説明を行い、それぞれの各自治体の考え方について説明を受けました。

南山城地区

ボウリング大会

3月6日(水)キョーイチボウル宇治において、10会員88人の参加をいただき、第23回ボウリング大会を開催しました。大会は1チーム3名の30チームが、団体戦と個人戦を競い、スポーツで心地よいひと時を過ごすことが出来ました。ゲームや表彰でも盛り上がった。会員・組合員相互の交流と親睦を図ることができました。

舞鶴地区

第26回舞鶴勤労者美術展

去る3月15日(金)～17(日)京都府立舞鶴勤労者福祉会館多目的ホールにおいて第26回舞鶴勤労者美術展を開催しました。写真、日本画、洋画、書道、工芸、手芸、それぞれの部門において計112点の力作が出品され、その中から、知事賞、市長賞、実行委員会会長賞、など31点の受賞作品が表彰されました。3日間の来場者数は延べ350人でした。来場者は、熱心に作品を見入り、受賞作品にシャッターを切る人もいました。この美術展は舞鶴市在住又は舞鶴市に勤務しているOBを含む勤労市民が余暇を利用し、個性あふれる作品を制作し、多くの市民に感動を与える京都府内で唯一の美術展です。

今後も引き続き後援団体のご協力をいただき、開催していきたいと考えております。

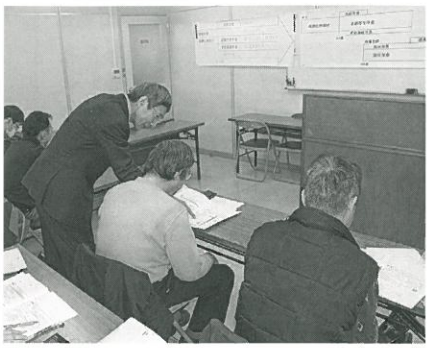
労福協退職準備セミナー

南地区

2月23日(土) 9時からジー・エス・ユアサ労働組合会議室において京都労福協、勤労者学園、ろうきん、全労済の協力を得て退職準備セミナーを開催しました。南地区労福協として初めての退職準備セミナーとなりましたが、加盟7組合から20名の参加をいただきました。

講師には社会保険労務士・ファイナンシャルプランナーの保理江正剛氏を招き「退職後の生活設計」と題して、定年後のセカンドライフに必要な生活費(夫婦:約28万円)をどのように確保すればいいかをもちに、退職後の主年金収入である公的年金、企業年金(職域年金)、財形年金、個人年金などの制度について説明を受けました。

また、退職に伴う税金や退職後の医療保険、雇用保険の仕組みなど知っておけば損をしない情報も得ることができました。



今回は、少人数制ということで年金定期便をもとに各人の年金支給額の試算や随時、参加者からの質問も受けながらセミナーを進めることができた有意義な講演となりました。

綾部地区

3月2日(土) 13時30分より、綾部ITビル多目的ホールに於いて、京都労福協・綾部労福協・勤労者学園の主催、近畿労金・全労済の協賛で綾部労福協加盟の8組合から29名が参加し退職準備セミナーを開催致しました。

講師には、社会保険労務士・ファイナンシャルプランナーの保理江正剛氏を招き、「退職後の生活設計」と題し、年金の見込額・働きながら年金を受け取る場合の注意点・退職後の健康保険などの内容でした。

定年後に必要な生活費の額や各年金についての説明を受け、自分の年金定期便をもとに、年金支給額の試算をするなかで、退職後の税金や医療保険などについて参加者からの多くの質問を受けながらセミナーを進めました。

最後に、退職後の貯蓄や保障について労金と全労済から説明もあり、大変有意義な講演でした。

宮津地区

会員研修会を開催

3月2日(土)、宮津市・天橋立ホテルにおいて会員研修会を開催し、60名の会員が参加しました。

第1部は、「心をつかむ話し方・聞き方」の演題で、元KBSアナウンサーの植月百枝さんが講演されました。よい話し方、よい聞き方について、「話し方の効果を決めるのは聞き手」「人間関係をよくするためにはよい聞き手になること」などと述べられ、職場や組合活動における言葉によるコミュニケーションの方法について参考になることが多くありました。また、「傾聴ボランティア」の活動で、相手の話を聞くだけで自殺者が減ったなど興味深いお話を聞くことができました。そのほか、早口言葉や2人1組になったの演習など楽しい内容もありました。

第2部は、「笑工房」の落語「こんな社会に誰がした」を笑福亭純瓶さんが演じられました。話は、近未来で元学校の先生が、退職後にハローワークに行くというストーリー。医療・年金・雇用・教育の荒廃など日本の様々な問題に直面する展開で、会場は笑いに包まれつつも、参加者の中には「将来本当になるかも」との感想を持つ人もおり、面白くてためになる社会派落語でした。

…京都の生協の連合体が京都府生協連です…
食の安全くらしの安心の
実現をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0851 京都市中京区烏丸夷川東南角
せいきょう会館2階 TEL075-251-1551

～事務機器・車リース・旅行のことなら～
エル・ユニオン京都
Lユニオントラベル京都

京都府知事登録 第3-554号
全国旅行業協会(ANTA会員)
事務所所在地はラボール京都6階
(京都労福協内)

TEL075-801-1501
FAX075-802-4568

きょうとライフサポートセンター
暮らしなんでも相談 府内どこからでも無料!

くろうなくろ
0120-967-976

京都府外の方、携帯電話・IP電話の方は
TEL 075-842-5777 FAX 075-842-5778

相談時間	午前10時～12時 午後1時～4時	(平日のみ)
------	----------------------	--------

会議・教室・研修会、
大ホールと中小会議室全15室、
お気軽にご利用ください。

(財)京都労働者総合会館
ラボール京都

〒604-8854
京都市中京区壬生仙念町30-2 (四条御前)
TEL075-801-5311 (http://www.labor.or.jp/kaikan/)

働くうえで役に立つ知識・技能と教養を身につける総合学習施設
府市民教室受講生:4月5日(金)募集開始!

ラボール学園
(京都勤労者学園は4月から
公益社団法人に移行しました)

ラボール京都3F 電話 075-801-5925

ラボール学園 検索



ZENROSAINNEWS

自然災害保障付 火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

火災・地震・風水害・落雷・盗難まで、幅広く保障します。^{※1}

○持ち家でも賃貸でもあなたの住まいに合わせてご加入いただけます。

○スピーディーな生活再建へ。火災は、70%以上の損壊額割合で金銭損扱い。

○被害を受けた住宅や家財は、同程度のものを新たに購入できる「再取得価額」で保障。^{※2}

※1 地震、盗難については、自然災害共済にご加入の場合、保障されます。 ※2 風水害・地震などには保険金が戻ります。これらに足額まで戻す内容は、共済売上の増進を認めたものであり、契約の額は「ノンレフト」を契約のてびき（契約額・注釈）を必ずご確認ください。

全労済は、営利を目的としない非営利の団体として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支拂いいたいて組合員になれば、会費共済をご利用いただけます。

今日、「まさか」について考えよう。

全労済

全労働者共済生活協同組合連合会

全労済京都府本部

(全京都勤労者共済生活協同組合)

tel.075-812-7800

(営業時間:9:00~17:00 土日祝・年末年始休業)

<http://www.zenrosai.coop>

2712B422

意思あるお金の流れをつくろう！それが「すまいる」

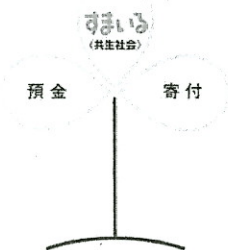
社会貢献預金

すまいる は、

“助け合い”の輪をさらに広げ、
“共生の社会づくり”をめざします！

『社会貢献預金・すまいる』は、ご預金を通して、
「エコ推進」「子どもたちの未来応援」「災害復興支援」
「国際協力」を行っている各分野の社会的な活動を
応援するものです。

- ・エコ推進コース
- ・子どもたちの未来応援コース
- ・災害復興支援コース
- ・国際協力コース



ろうきんらしい【助け合う預金】として、
さらにパワーアップしました。

すべての勤労者の笑顔のために

近畿ろうきん

京都地区統括本部

075-801-7317